

事業名	浜町エリアの活性化に向けて (浜町にぎわいづくり推進事業・都市公園等整備事業)	充実	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	133,884	16,102	5,450	80,000	1,096	31,236
総合戦略 策	しごとをつくり、安心して働けるようにする			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
背 景 ・ 経 緯	H22: 浜町地区活性化調査研究事業 H23: 宮津マルシェ整備に向けた調査研究 H24: 宮津マルシェアクションプログラム策定、道の駅機能を持たせた浜町ゾーンの具現化 H25: 観光交流センター整備に着手、商業エリアの事業プラン構築等 H26: 浜町立体駐車場の取得(9月～市営化) H27: 観光交流センターオープン、道の駅登録、宮津まちづくり会議報告書の提出 H28: 地域振興拠点の具現化に向けた宮津商工会議所による事業パートナーの選定			26,750	国	地方創生推進交付金		16,102	
					府	市町村未来づくり交付金		5,450	
				市債	過疎対策事業債(3月)		80,000		
				使手	観光交流センター使用料		1,096		
目 的 ・ 目 標	浜町周辺(地域振興拠点)を「魅力ある集客ゾーン」としていく。			期 待 さ れ る 効 果	【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 観光交流人口 H31:300万人(H27:約297万人) 観光消費額 H31:150億円(H27:約95億7千万円) 外国人観光客宿泊数 H31:5万人(H27:約2.5万人)				
事 業 概 要	■観光交流センター及び立体駐車場の運営 21,680千円 交通アクセス環境の向上により来訪者が増加する中で、地域振興拠点を「丹後観光のゲートウェイ」・「周遊型・滞在型観光の拠点」とするため、観光交流センター及び立体駐車場を運営する。			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
	■魅力ある集客ゾーンの具体化 32,204千円 ○地域振興拠点の実現に向けたパイロット事業 13,368千円[補助] 地域振興拠点の具体化に向け、宮津商工会議所が事業パートナーとともに実施するパイロット事業を支援するもの。 ＜パイロット事業内容＞ ・パイロット事業施設開設後の商業施設の管理・運営等の経営マネジメント業務 ・パイロット事業施設を中心としたエリアマネジメント業務 等			27	年度策定	浜町エリア及びその周辺エリアの活性化に向けて		計 画 期 間	
	○パイロット事業施設整備等 17,000千円 7月開業に向けたパイロット事業を実施するにあたり、必要な施設を整備する。(3年リース) ・施設規模:約200㎡ ・機能:飲食・物販店及び鮮魚店				年度策定				
	○地域振興拠点マーケティング業務 1,836千円 地域振興拠点全体のマーケティング業務を行う。				年度策定				
	■集客エリアの再整備 80,000千円(H28.3補正 80,000千円) 地域振興拠点整備の一環として、島崎公園をより利用しやすく親しみを持てる公園としてパイロット事業と一体的に整備するもの。 ・実施設計費 15,000千円 ・工事費 65,000千円				年度策定				
				【市民参加の状況】					
			【先進性】						
			担当部署	企画部 観光交流課 観光まちづくり係			TEL	45-1625	

事業名	宮津の自然・歴史・文化を高め、国内及び世界へ発信する取組 (世界遺産登録推進事業、インバウンド推進事業、北前船港町まちづくり事業、丹後ちりめん創業300年事業)		充実	予算額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興 環境保全と生活環境の向上	7,260		750		2,443	4,067
総合戦略 政 策	しごとをつくり、安心して働けるようにする			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H19. 9: 天橋立の世界遺産暫定リスト登録を文化庁に申請 (府・1市2町共同) ・H19.12: 市民主体の活動組織「天橋立を世界遺産にする会」設立 ・H20. 9: 文化庁、暫定リスト審査結果発表。次点の「1a」評価 ・H26. 7: 「北前船寄港地フォーラムin宮津・京都」開催 ・H27. 1: 「世界で最も美しい湾クラブ」加盟申請書提出 ・H28. 6: 「北前船寄港地日本遺産登録推進協議会」発足 ・H28.11: 「世界で最も美しい湾クラブ」正式加盟決定 (第12回総会・メキシコ) 			2,820	府	市町村未来づくり交付金			750
					繰入	自然環境保全基金繰入金			1,400
					繰入	まちづくり基金繰入金			1,000
					諸	世界で最も美しい湾クラブ年会費分担金			43
目 的 ・ 目 標	天橋立を中心に地域の宝として世界に発信していくため、世界遺産登録の推進、世界で最も美しい湾クラブによるインバウンドの推進、北前船寄港地日本遺産登録の推進、丹後ちりめん創業300年事業の実施などの各種取組を一体的に取り組む。			期 待 さ れ る 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・天橋立の価値高揚と将来へ保全継承 ・天橋立、宮津湾の国内外への幅広い情報発信 ・北前船関連資源の観光資源化 【宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 観光交流人口 H31:300万人(H27:約297万人) 外国人観光客宿泊数 H31:5万人(H27:約2.5万人)				
事 業 概 要	■天橋立世界遺産登録の推進 1,450千円 ○天橋立世界遺産登録可能性検討委員会 (事務局:京都府) への参加等 34千円 ○「天橋立を世界遺産にする会」への支援 1,416千円 ・天橋立の世界遺産登録に向けたシンポジウムなど啓発事業等を支援。			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
				年度策定				計 画 期 間	
				年度策定					
				年度策定					
				年度策定					
	■世界で最も美しい湾クラブを活用したインバウンドの推進 3,100千円 ○世界で最も美しい湾クラブ連携 827千円 ・第13回総会 (H29.9フランス・ヴァンヌ市) への出席、年会費負担 ○4湾連携 273千円 ・国内加盟湾 (松島湾、富山湾、駿河湾) とのネットワークの構築及び連携事業の展開など ○湾クラブ加盟を記念するモニュメントの製作 2,000千円			【市民参加の状況】					
				・天橋立を世界遺産にする会、北前船まちづくり委員会は、市内の事業者や各団体、自治連、住民など、各層で構成。 ・天橋立の一斉清掃、市民による北前船の取組など、種々の取組に主体的に参画、参加。					
	■北前船文化を活かした観光地域づくり 2,500千円 ○北前船まちづくり委員会の活動支援 1,000千円 ・市民向け講演会の実施、市民団体が実施する他の北前船寄港地との交流事業への支援など ・各寄港地とのネットワーク強化 (北前船寄港地フォーラムへの参加) ○北前船寄港地日本遺産登録活動 1,500千円 ・北前船寄港地日本遺産登録推進協議会 (26自治体で構成) への参画と連携			【先進性】					
				・ユネスコの後援を受けている国際組織への加盟 ・北前船寄港地による日本遺産登録への取組					
	■丹後地域のものづくり産業の振興と魅力発信 210千円 ○丹後ちりめん創業300年事業実行委員会 (H29.1設立) への負担金			担当部署	企画部 企画政策課 環境交通政策係 観光交流課 観光まちづくり係 観光交流課 定住交流係 産業経済部 産業振興課 産業推進係	TEL	45-1609 45-1625 45-1607 45-1663		

(単位:千円)

事業名	里の地域資源活用事業	充実	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	46,700	12,982			18,000	15,718
総合戦略 政 策	しごとをつくり、安心して働けるようにする			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
背 景 経 緯	H25～26：オリーブ栽培の実証を開始 H27：経営戦略の策定 日伊文化交流協会と連携協定の締結 実証結果を踏まえ栽培の開始 加工品生産基盤整備の支援 (H28.3末累計1,035本) H28：栽培・加工技術の向上や宮津オリーブのブランド化、販売開拓等全体を マネジメントし、宮津のオリーブ産業を牽引する組織「オリーブオイル宮津 (仮称)」の立ち上げに向けて準備室設置			8,100	国	地方創生推進交付金			12,982
					繰入	過疎地域自立促進特別事業基金繰入金			18,000
目 的 目 標	オリーブの生産拡大、技術の向上、栽培者の育成等を支援することにより、オリーブの産業化を図るとともに、雇用の創出につなげる。			期 待 さ れ る 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな特産品開発 ・観光消費額の拡大や全国展開等による外貨獲得 ・生産者や加工事業者の増加による地域雇用の創出 【宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 オリーブの植栽数・出荷量 H31：10,000本 H28：1,635本				
					【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】				
事 業 概 要	■ マネジメント組織の運営支援 19,540千円 オリーブ事業の進捗を加速化するとともに官民一体となって事業に取り組むため、栽培・加工技術の向上や宮津オリーブのブランド化、販路開拓等全体をマネジメントする組織「オリーブオイル宮津」の運営を支援し、生産者等へのサポート体制の強化を図り、生産拡大等を促進する。 ■ オリーブの生産拡大に対する支援 11,160千円 生産拡大を促進するため、苗木代、支柱等資材費及び土壌分析調査の初期費用を支援をする。 ・苗木代、支柱等資材費 補助率 2/3 ・土壌分析調査 (オリーブオイル宮津へ委託) ※土壌改良、農地再生及び獣害対策は、各協議会が行う国府制度を活用して支援 ■ 地域おこし協力隊の活動支援 16,000千円 地域外の人材の定住促進、地域活性化を図るため地域おこし協力隊4名の活動を支援。 ・オリーブの生産活動 (継続1名(H28.4～)、新規2名) ・ホンモロコの生産活動 (新規1名)			年度策定	計 画 期 間				
				年度策定					
				年度策定					
				年度策定					
				【市民参加の状況】					
由良地区では、由良オリーブを育てる会を組織され、取り組まれている。他の地区の農業者へも栽培の取組が広がっている。									
【先進性】									
担当部署	産業経済部 農山漁村振興課 農山漁村振興係			TEL	45-1667				

(単位:千円)

事業名	新規就農者育成等営農体制の構築と農地利用の最適化の推進 (人・農地プラン策定事業、農地中間管理事業、新規就農者育成支援事業 等)	継続	予算額	財 源 内 訳							
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源			
ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	11,055		8,436		2,454	165		
総合戦略 策	みやづを担う次代の人づくり			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳						
背 景 経 緯	就農者の高齢化や担い手不足、遊休農地の増加などの問題に対応するため、地域の話し合いを通じた合意形成による人・農地プランの策定を推進するとともに、担い手の育成・確保等への取組に対して支援を行っている。 H26.6: 農地中間管理機構(農地の貸し手と借り手をつなぐ中間的受け皿となる組織)を通じて、農地の利用権を担い手へ集約する農地中間管理事業が開始。 H28.4: 農地利用の最適化を進めるため、農地利用最適化推進委員の新設等の新たな農業委員会制度が開始。 ・農業委員会組織体制の変更(農業委員22人 → 農業委員14人、推進委員10人) ※農地利用最適化推進委員: 担当区域における農地等の利用の最適化推進のために、主として現場活動を行う。			6,400	府	農業振興事業費補助金			2,436		
					府	新規就農総合支援事業補助金			6,000		
					その他	農地管理事業委託金				2,454	
			期 待 さ れ る 効 果	担い手への農地の集積・集約化 遊休農地の発生防止・解消 新規参入の促進 【宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 新規就農者、就漁者数 H26: 3人→H31: 20人 H27: 1人							
目 的 目 標	「人・農地プラン」の策定を推進し、そのプランに基づき地域の農業を支える担い手等への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等を進め、持続可能な営農体制の構築や農地の利用促進を図る。			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】							
事 業 概 要	■人・農地プランの策定 350千円 地域農業のあり方や今後の地域農業の担い手について話し合い、「人・農地プラン」の策定や既存のプランの見直しを行う。 <策定済み> 7プラン (14集落) <話し合い継続中> 3プラン (5集落) <新規話し合い> 2地域 (20集落) ■農地中間管理事業を活用した農地の集約 4,005千円 ○機構集積協力金 農地中間管理機構を通じた農地の集約に対し、集積協力金の交付を行う。 ・地域に対する支援(地域集積協力金): 1地区 約8.6ha ・個人に対する支援(耕作者集積協力金等): 20筆 約1.0ha ○農地中間管理事業に関する受託事務 ■営農体制の構築に向けた取組への支援 6,700千円 ○新規就農者の育成支援 4名分(1,500千円/年・人) ○集落営農組織の構築・育成支援(法人化に係る経費支援及び専門家招聘)			25 年度策定	波路地域・小田宿野地域京力農場プラン	計 画 期 間	25 ~ 29				
				27 年度策定	上世屋地域・田原地域京力農場プラン		27 ~ 31				
				28 年度策定	養老中部地域・波見谷地域京力農場プラン		28 ~ 32				
					年度策定						
				【市民参加の状況】						人・農地プラン策定や貸し手と借り手のマッチングのための地域における話し合い	
【先進性】											
			担当部署	産業経済部農山漁村振興課 産業経済部農林水産課 農業委員会事務局	TEL	45-1667 45-1626 45-1645					

(単位:千円)

事業名	元気な里づくり基盤整備事業事業	継続	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	14,000		4,200	2,100	4,483	3,217
総合戦略 政 策	—			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
背 景 経 緯	営農活動に必要な農業生産基盤(農道・農業用水路等)の改修について、地元要望が数多くあがっている。			17,500	府	農業基盤整備事業費補助金(3月)		4,200	
					市債	農業基盤整備事業債		2,100	
					分負	元気な里づくり基盤整備事業分担金		4,483	
目 的 目 標	営農活動を継続するため、農道・水路等の生産基盤の整備を行い、元気な里づくりを推進する。			期 待 さ れ る 効 果	農業生産基盤の整備による安定生産				
事 業 概 要	■農地耕作条件改善事業 7,000千円 (H28.3補正 7,000千円) 耕作しやすい農地に改善するため、農地の暗渠排水及び農業用水路を改修する。 【事業内容】○事業地区 大島地区 ○事業内容 暗渠排水工 A=4.00ha、水路工 1式 ○事業費 7,000千円 【全体計画】○事業地区 大島地区 ○事業内容 暗渠排水工 A=6.15ha、水路工 1式 ○事業費 10,000千円 (実施期間:H28~H29) ■農業用施設等の改修 6,814千円 補助事業の対象とならない地域課題を解決するため、農道・水路改修等を実施する。 ○事業地区 市内全域(栗田、宮津、上宮津、養老地区ほか) ○事業内容 農道、農業用水路等の改修他 ○事業費 6,814千円 (工事費 5,900千円、原材料等 914千円) ■土地改良施設維持管理適正化事業賦課金 186千円 田原地区の排水路改修に伴うもの ※受益者分担金は原則事業費の50% (災害関連:事業費の30%、補助事業:補助残の60%)			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
				年度策定	計 画 期 間				
				年度策定					
				年度策定					
				年度策定					
				【市民参加の状況】					
【先進性】									
担当部署	産業経済部 農山漁村振興課 産業基盤係			TEL	45-1627				

事業名	山の地域資源活用事業	継続	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	3,400	200	3,000			200
総合戦略策	しごとをつくり、安心して働けるようにする			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
背景経緯	H21～H23: 「宮津環境産業創出研究会」支援 H22: 竹林再生整備計画(32自治会、173か所、164ha)の策定 H22～H24: 「宮津バイオマス・エネルギー事業地域協議会」支援 宮津バイオマスエネルギー製造事業所建設(H23.8竣工)、技術実証 H27: 連続炭化装置の研究開発への支援 H28: 民間事業者による竹資源管理センターの運営			7,320	国	地方創生推進交付金			200
					府	豊かな森を育てる府民税市町村交付金			3,000
目的目標	放置竹林の整備による森林環境の改善を図るとともに、山の地域資源「竹」を有効に活用する民間事業者の内発型事業を推進する。 併せて関連企業の誘致に取り組み、地域雇用機会の創出と地域経済の活性化を図る。			期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・森林環境の改善(竹林の再生) ・竹に関する情報の収集、加工技術の開発・集積と新たな産業の創出、雇用の拡大 【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 竹の一次加工品出荷額 H31目標: 30,000千円 H27実績: 6,630千円				
事業概要	■放置竹林の整備と竹のカスケード利用の促進 ○放置竹林の整備 3,000千円 整備面積=2.0ha(約8,000本) ○竹林整備隊強化拡充事業 400千円 ・新規隊員の安全講習等 ・貸与機材の管理(保険、修繕) ※H28年度 竹林整備隊の編成(14人・1団体・3法人が登録) ○竹のカスケード利用による関連企業の誘致 参考:事業の全体イメージ			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】 H22 年度策定 竹林再生整備計画 計画期間 22～ 年度策定 年度策定 年度策定					
				【市民参加の状況】 ・地権者、関係者の竹伐採への協力 ・土地の使用及び竹の無償提供 ・地権者、関係者の承諾に対する自治会の全面協力					
	【先進性】 ・竹林の再生と竹のカスケード利用の促進 ・農林バイオマス3号機技術による竹の液体燃料化、ガス化発電施設は国内初			担当部署 産業経済部 産業振興課 産業創出係 TEL 45-1608					

事業名	海の地域資源活用事業	充実	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	8,135	500	1,567			6,068
総合戦略 策	しごとをつくり、安心して働けるようにする			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
背 景 経 緯	漁獲量の減少や魚価の低迷などによる漁業経営の不安定を解消するため、つくり育てる漁業による生産拡大のほか、京のブランド産品「丹後とり貝」や育成岩がき、ナマコ、クロアワビなど、ブランド水産物の生産拡大が強く求められている。 ・H28.4:京都産ナマコブランド協議会の設置			H27.3繰越含む	国	地方創生推進交付金			500
				9,385	府	市町村未来づくり交付金			1,567
目 的 目 標	ナマコなど「海」の地域資源を活用し、魅力ある新商品の開発を行うとともに、水産物の生産と需要の拡大を進め、漁業経営の改善や就業者等雇用の創出につなげる。			期 待 さ れ る 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・つくり育てる漁業の推進による漁業所得等の向上 ・加工事業者の増加による雇用の創出 ・外国人観光客をターゲットにした外貨獲得 【宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 ナマコ等育成水産物の出荷額：H31目標：36,000千円 H27実績：19,270千円				
事 業 概 要	■ ナマコ資源の活用及び価値向上に対する支援 1,000千円 ○資源の増殖・育成実証調査 資源の確保や生産拡大を図るため、宮津湾における増殖・育成調査（天然採苗、放流）を継続する。 ○流通における付加価値向上等 ナマコ出荷の鮮度向上等の研究やIT技術を使ったトレーサビリティ認証の実証を行う。			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
				年度策定				計 画 期 間	
				年度策定					
				年度策定					
				年度策定					
			【市民参加の状況】						
■ 元気な海づくり推進事業 3,135千円 ○事業主体：京都府漁業協同組合 ○事業内容：トリガイ、イワガキ等育成筏の設置に対する助成（10基） 補助率1/6 ※府直接補助(補助率1/2)への上乗せ支援 原木魚礁、種苗放流・移植、漁場整備事業への支援			【先進性】						
■ 地域おこし協力隊の活動支援 4,000千円 地域外の人材の定住を促進し、地域活性化を図るため地域おこし協力隊の活動を支援する。 ・ナマコ加工の生産活動（1名・継続(H27.12～)）									
			担当部署	産業経済部 農山漁村振興課 農山漁村振興係 農林水産課 農林水産係	TEL	45-1667 45-1626			

事業名	新規就漁者育成支援事業	充実	予算額	財源内訳					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	1,525				1,525	0
総合戦略 策	みやづを担う次代の人づくり			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
			150	使手	漁港占用料			1,525	
背景 ・ 経緯	H27：京都府海の民学舎が開設 ※1期生(H27入舎)7名、2期生(H28入舎)7名 H28：1期生の2名が栗田地区及び養老地区で独立型漁業研修を開始 H29：1期生のうち1名が養老地区で就業。2期生の1名が養老地区で研修を開始								
目的 ・ 目標	漁業の後継者を育成する実践型研修機関の運営を支援するとともに、新規就業者の漁船・漁具の整備を支援することにより漁業の担い手の育成・確保を図る。			期待 される 効果	・若手漁業者の育成による漁業従事者の確保や後継者不足の解消、漁村への定住 【宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 新規就農者、就漁者数 H26：3人→H31：20人 H27：1人				
事業 概 要	■海の民学舎運営協議会への負担金 150千円〈継続〉 新規漁業就業者の育成や若手・中堅漁業者の経営力の向上を図る実践型研修機関として開設された「海の民学舎」の運営を支援 ○運営主体 海の民学舎運営協議会(漁業団体、京都府、沿海市町で構成) ○内 容 [1年目] 海洋センター等で講義・実習による漁業の知識と技術を習得 [2年目] 漁村に定住し、漁業現場で実地研修 ○市負担金 150千円(総事業費約9,000千円の内、沿海4市町で各150千円を負担) ■漁業担い手用漁船・漁具リース事業 1,000千円〈新規〉 漁協が中古漁船・漁具等を購入し、学舎生等へリースする取組を支援 ○実施主体 京都府漁業協同組合 ○補助対象 本市就業者・研修者が使用する中古漁船・漁具等の購入費 ○市補助金 1,000千円(府1/3・市町1/3・自己負担1/3) ■新規就業者ステップアップ事業 375千円〈新規〉 海の民学舎の卒業生や地域の若い漁業者を対象としたスキルアップ研修の開催支援 ○運営主体 海の民学舎運営協議会 ○市負担金 375千円(事業費3,000千円を府1/2、沿海4市町1/2で負担)			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
				年度策定			計 画 期 間		
				年度策定					
				年度策定					
				年度策定					
				【市民参加の状況】					
【先進性】									
担当部署	産業経済部 農山漁村振興課 農山漁村振興係			TEL	45-1667				

事業名	水産基盤施設の整備 (漁港整備事業・海岸保全施設整備事業)	継続	予算額	財 源 内 訳								
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源				
ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	77,498	15,000	34,665	19,600	909	7,324			
総合戦略 政 策	—			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳							
背 景 経 緯	・漁業生産活動に必要な生産基盤として、小型漁船の安全な係留場所の確保に対する強い要望がある。 ・水産基盤施設は、改良・更新すべき時期の施設が増加しており、適切な機能を継続的に発揮していくためには、効果的かつ効率的な維持管理・更新等により施設の長寿命化や更新コストの縮減を図ることが強く求められている。 ・栗田半島東側に位置する海岸については、背後地は人家が密集しており、離岸堤の設置されていない箇所において、波浪時には非常に危険な状態である。			66,000	国	海岸保全施設整備事業費補助金	15,000	府	漁村再生交付金ほか	34,665		
					市債	過疎対策事業債	19,600	分負	漁港施設整備事業分担金	909		
				期 待 さ れ る 効 果	・漁船の安全な停泊及び係留の確保と泊地内の静穏度向上 ・施設の長寿命化による施設更新経費の縮減・平準化 ・背後住民の生命・財産の保全							
				目 的 目 標	漁港については、船揚場の拡張等による小型漁船の安全な係留場所の確保を図り、漁業生産活動の安全を確保するとともに、漁港施設の老朽化に対応するため、機能保全計画を策定し、効果的かつ効率的な漁港施設の維持・更新を図る。 海岸については、離岸堤の設置により、波浪等による被害を軽減し、背後住民の安全を確保する。							
事 業 概 要	■漁村再生交付金事業 22,800千円 ・事業地区：田井(栗田)漁港 ・事業内容：船揚場の拡張 L=30m ◇全体計画 (H27~29) ・事業内容：船揚場 L=30m、防波堤A L=30m、防波堤B L=15m ・事業費：130,000千円[工事費 103,000千円、測試費 27,000千円] (うちH27~28事業費 107,200千円)			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】								
				年度策定					計 画 期 間			
				年度策定								
				年度策定								
				年度策定								
	■水産基盤施設機能保全計画策定事業 21,698千円 ・事業地区：2漁港(栗田, 養老漁港) ・事業内容：機能保全計画の策定 ◇全体計画 (H28~29) ・事業内容 機能保全計画の策定：4漁港(栗田漁港, 養老, 田井(栗田), 島陰漁港) ・事業費 測試費 36,600千円(うちH28事業費 14,902千円)			【市民参加の状況】								
■海岸保全施設整備事業 30,000千円 ・事業地区 栗田漁港海岸地区(脇、上司、小田宿野) ・事業内容 測量及び設計等業務委託 ◇全体計画 (H29~34) ・事業内容 離岸堤 450m・7基(70m/基*3基、60m/基*4基) ・事業費 500,000千円[工事費 470,000千円、測試費 30,000千円]			【先進性】									
■海岸施設等の改修 3,000千円 小田宿野突堤ほか												
			担当部署	産業経済部 農山漁村振興課 産業基盤係			TEL	45-1627				

事業名	農水商工観連携推進事業	継続	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	8,729	2,771	1,166			4,792
総合戦略 政策	しごとをつくり、安心して働けるようにする			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
背 景 ・ 経 緯	H26.3: 「宮津農水商工観連携会議」発足 H27 : 商品の開発・改良(7品目) 商品PRパンフレット・食べ歩きマップの発行 H28 : 商品の開発・改良(6品目予定) 地域ブランド「宮津遺産」の創設(5品目を認定)			29,256	国	地方創生推進交付金		2,771	
					府	丹後半島振興広域連携促進事業費補助金		1,166	
期 待 さ れ る 効 果	農林水産業と商工業、観光業との連携を深め、6次産業化、地産地消(消)等をさらに推進し、外貨を稼ぎ地域経済力を高めるための自立循環型経済社会構造への転換を図る。			・新たなお土産物開発による観光消費額の拡大 ・地元産品のブランド化、高付加価値化 【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 観光消費額 H31目標: 150億円 H27実績: 96億円					
目 的 ・ 目 標				【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
事 業 概 要	■農水商工観連携会議の活動支援 5,500千円 商工会議所を中心に、6次産業化やものづくり等を進められている「宮津農水商工観連携会議(平成26年3月設立・28団体・事務局:商工会議所内)」の取組を継続支援 (農水商工観連携会議の活動) 消費者ニーズに合ったお土産物開発(重点取組)、販路開拓支援、宮津遺産認定によるブランド化の推進など ■料理メニュー・特産品開発アドバイザー事業(大和学園連携事業) 1,000千円 既存商品の改良や新規商品の開発の指導、アドバイスを大和学園講師が実施 ■特産品等振興事業補助金事業 2,187千円 市内農林水産物を使用した特産品や市内事業者が生産する土産物づくり、販路の拡大を支援 ■農商ビジネスフェア(北部地域連携都市圏 移住定住プロジェクト) 42千円 北部7市町が合同で実施するマッチングフェア開催経費の一部を負担			年度策定	計 画 期 間				
				年度策定					
				年度策定					
				年度策定					
				【市民参加の状況】					
				農水商工観連携会議は、市内の各分野の機関・団体等に参画いただき、協議検討を進めている。					
				【先進性】					
				担当部署	産業経済部 産業振興課 産業推進係			TEL	45-1663

事業名	観光商業施設整備事業	充実	予算額	財 源 内 訳						
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	21,000			21,000		0	
総合戦略 策	しごとをつくり、安心して働けるようにする			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
				5,000	市債	過疎対策事業債			21,000	
背 景 ・ 経 緯	H24：社会資本整備総合交付金(まちづくり交付金)採択 (H24～H28の5カ年計画) H25：観光商業施設用地を購入 H28：観光商業施設整備に向けた基本設計に着手									
目 的 ・ 目 標	浜町を中心とした市街地から、天橋立を中心とする観光エリアへと回遊性をもたせた湾岸域を構築するため、その中間地点に位置する宮津市食品卸売センターを誘客・商業施設に改修整備し、観光消費額の拡大及び市内産業の活性化を図る。			期 待 さ れ る 効 果	<ul style="list-style-type: none"> 観光消費額の拡大 地元農林水産物等流通の円滑化と市内産業の活性化 					
事 業 概 要	■観光商業施設に係る先行改修整備 21,000千円 (H28.3補正 21,000千円)			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】						
	都市再生整備計画及び現在策定中の基本計画等に基づき、男女共用トイレを男女別及び多目的トイレに先行整備する。			24 年度策定	都市再生整備計画	計 画 期 間	24 ~ 28			
				年度策定						
				年度策定						
				年度策定						
				【市民参加の状況】						
			【先進性】							
			担当部署	産業経済部 産業振興課 産業推進係	TEL	45-1663				

事業名	企業誘致推進事業	充実	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 重点戦略	定住促進戦略	ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	58,300		27,100		27,652	3,548
総合戦略 策	みやづへの人の流れをつくる			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
背 景 ・ 経 緯	宮津市企業立地拡充促進条例に基づく企業立地を促進 (条例適用事業者) H26.4指定:株式会社文珠荘 余暇利用施設「文珠荘」 H28.6指定:株式会社にしがき 余暇利用施設「天橋立離宮星の音」 H29.2指定:丹後フーズ株式会社 肉加工品製造工場			2,500	府	市町村未来づくり交付金		27,100	
					繰入	過疎地域自立促進特別事業基金繰入金		25,000	
					諸	企業誘致用土地家屋借上料相当額		2,652	
目 的 ・ 目 標	人口の減少に歯止めをかけるために、企業の立地及び事業規模の拡充を促進し、雇用機会の拡大と地域経済の活性化を図る。			期 待 さ れ る 効 果	・雇用の拡大と地域経済の活性化 【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 誘致事業所数 H31目標:5社(累計) H28見込:企業立地協定締結4社				
事 業 概 要	■宮津市企業立地拡充促進奨励金 46,700千円 宮津市企業立地拡充促進条例の適用事業者の指定を受けた事業者に奨励金を交付する。 ○立地促進奨励金 43,800千円 投下固定資産総額の10%(上限30,000千円)を交付 ・対象事業者 株式会社にしがき H29.3操業開始予定 丹後フーズ株式会社 H29.6操業開始予定 ○雇用促進奨励金 2,900千円 1年以上の雇用が確認された新規地元正規従業員400千円/人、新規地元非正規従業員100千円/人に各年度純増従業員数を乗じた額を交付(操業開始から3年間) ・対象事業者 株式会社文珠荘(最終年度) 株式会社にしがき(第1対象年度)			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
				年度策定					計 画 期 間
				年度策定					
				年度策定					
				年度策定					
				【市民参加の状況】					
			【先進性】						
■企業誘致適地調査事業 7,500千円 企業誘致活動を円滑に進めるため、企業誘致候補地において調査を行う。 ・調査内容 海水井戸の試掘(日置地区)									
■企業誘致の推進に係る事務費等 4,100千円									
			担当部署	産業経済部 産業振興課 産業創出係		TEL	45-1608		

事業名	魅力ある観光地づくり支援事業	新規	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	60,135	12,795	6,885		21,160	19,295
総合戦略 策	しごとをつくり、安心して働けるようにする			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
背 景 経 緯	H27.7:京都縦貫自動車道の全線開通 H27.7~11:海の京都博の開催 H28.6:(一社)京都府北部地域連携都市圏振興社(以下「海の京都DMO」)の設立 H28.8:(公社)天橋立観光協会が海の京都DMOに統合参画(以下「海の京都DMO天橋立地域本部」)				国	地方創生推進交付金			12,795
					府	市町村未来づくり交付金			6,885
					繰入	観光振興基金繰入金			21,160
目 的 目 標	日本の顔となる観光地を目指し、天橋立に代表される観光資源の活用並びに海の京都DMO及び海の京都DMO天橋立地域本部と連携することにより、観光入込客の増加、観光消費額の拡大を図る。			期 待 さ れ る 効 果	【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 観光交流人口 H31:300万人(H27:約297万人) 観光消費額 H31:150億円(H27:約95億7千万円) 外国人観光客宿泊数 H31:5万人(H27:約2.5万人)				
事 業 概 要	■海の京都DMOの運営に係る負担金 21,590千円 平成31年度までにブランド観光圏を形成するために設立した海の京都DMOに対する負担金			【みやびビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
	■海の京都DMO天橋立地域本部に対する支援 30,545千円 ○宮津市観光振興交付金の交付 12,775千円 海の京都DMO天橋立地域本部の運営、地域イベント支援、国内外へのプロモーションなど、海の京都DMO天橋立地域本部運営に係る基盤部分を支援			年度策定			計 画 期 間		
	○宮津市観光推進会議の運営支援 1,000千円 市内の各分野の組織・団体の連携を深め、誘客及び観光地域づくり等を一体的に進める「宮津市観光推進会議」の運営支援			年度策定					
	○天橋立アクティビティセンター(体験型観光拠点)に係る運営支援 3,000千円 施設改修及び体験プログラムに必要な備品の充実を支援			年度策定					
	○丹後観光情報センター(天橋立駅内)に係る運営支援 12,310千円 本市観光における玄関口となる天橋立駅での観光案内業務及び増加する外国人観光客に対する案内体制の強化への支援			年度策定					
○観光パンフレット等作成支援 1,460千円			【市民参加の状況】						
■観光分野において活躍する地域おこし協力隊の活動支援 8,000千円 アクティビティセンターを活動拠点に地域課題に取り組む人材として、地域おこし協力隊を募集し、その活動を支援			宮津市観光推進会議への参画						
			【先進性】						
			【(一社)京都府北部地域連携都市圏振興社(海の京都DMO)】 →観光協会を統合したDMOは全国初 【丹後観光情報センター】 →日本政府観光局の外国人案内所カテゴリーⅡに認定						
			担当部署	企画部 観光交流課 観光まちづくり係	TEL	45-1625			

事業名	宮津天橋立周遊観光推進事業		継続	予算額	財源内訳					
					国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	10,635	5,317			4,390	928	
総合戦略 策	しごとをつくり、安心して働けるようにする			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
背景 経緯	[平成27年度] 観光交流センター開設、道の駅登録、天橋立パーク&クルーズの実施 海の京都博を開催(7/18~11/15):天橋立砂浜ライトアップ実証実験、成相寺紅葉ライトアップ [平成28年度] 天橋立パーク&クルーズの継続実施 天橋立砂浜ライトアップ本格実施、成相寺紅葉ライトアップ継続実施			17,000	国 繰入	地方創生推進交付金 観光振興基金繰入金		5,317 4,390		
				期待される 効果	【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 観光交流人口 H31:300万人 (H27:約297万人) 観光消費額 H31:150億円 (H27:約95.7億円)					
目的 目標	本市における観光客の滞在時間を延ばし観光消費額を増加させるため、海上交通を活用した周遊ルートの構築及び夜の賑わい創出を推進し、周遊型・滞在型観光への転換を図る。									
事業 概要	■海を活用した天橋立周遊の実施 7,135千円 浜町地区を「丹後観光のゲートウェイ」として、海上交通を活用した新たな観光コースの充実を図る。 【主な取組内容】 ○交通事業者と連携したパーク&クルーズの実施 ○海上交通を活用した観光コースの定着を図るためのプロモーション活動 【実施予定期間】 計41日間 (4月29日~5月6日、7月15日~8月27日の土日祝日(盆含む)、平成30年1月1日~3日(ほか))			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】						
				25年度策定	海の京都天橋立地区マスタープラン		計画 期間			
				年度策定						
				年度策定						
				年度策定						
			【市民参加の状況】 地域住民、観光、商工関係者と協議、協力しながら賑わいづくりを実施							
			【先進性】							
			【実施主体】 「海の京都」天橋立地区協議会 【取組内容】 ○天橋立まち灯り(天橋立砂浜ライトアップ) 開催予定期間:7月15日~8月31日 ※「天橋立まち灯りぶらり散歩」、「ナイトクルーズ」など地元、交通事業者の別途取組と連携 ○成相寺紅葉ライトアップ 開催予定期間:11月4日~5日							
				担当部署	企画部 観光交流課 観光まちづくり係		TEL	45-1625		

事業名	美しく豊かな阿蘇海推進事業		新規	予算額	財源内訳				
					国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
ビジョン重点戦略	—	ビジョン基本施策	環境保全と生活環境の向上	1,830		300		1,500	30
総合戦略策	しごとをつくり、安心して働けるようにする			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H27.3:阿蘇海流域ビジョン策定(阿蘇海環境づくり協働会議) ・H28.3:美しく豊かな阿蘇海をつくり未来につなぐ条例の制定(H28.4施行) ・H29.2:平成28年度「阿蘇海の日」事業実施 			<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 50px; height: 50px; margin-right: 10px;"></div> </div>	府	海岸漂着物回収・処理事業費補助金	300		
					諸	環境保全促進助成事業助成金	1,500		
目的・目標	美しく豊かな阿蘇海を取り戻し、次世代に継承するため、「美しく豊かな阿蘇海をつくり未来につなぐ条例」に基づき、市民、地域活動団体、事業者及び行政が一体となって清掃活動や学習・啓発活動等に取り組み、阿蘇海水域及び周辺環境の保全、改善を図る。			期待される効果	阿蘇海環境への関心の高まりと、環境保全活動の推進。				
事業概要	<p>■阿蘇海清掃活動等の実施 330千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○阿蘇海清掃活動(年2回) 300千円 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者:地元観光協会等のボランティア、京都府及び市の職員 ・場 所:大垣海岸 ○阿蘇海環境改善啓発ポスターコンクール 30千円 <ul style="list-style-type: none"> ・対 象:宮津市内の小学生 <p>■「阿蘇海の日」講演会等の実施 1,500千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日時:平成29年7月予定 ○内容: <ul style="list-style-type: none"> *講演会・事例発表会 <ul style="list-style-type: none"> ・講 演:「環境」をテーマとした講演会 ・事例発表:NPO法人国際ボランティア学生協会、府立海洋高校、地元小学生 *阿蘇海周遊体験学習会 <ul style="list-style-type: none"> ・講師:地元漁業関係者 ・対象:宮津市、与謝野町の小中学生 <p>※与謝野町、京都府等と連携して実施予定</p>			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
				26	年度策定 阿蘇海流域ビジョン	計画期間	27 ~ 42		
					年度策定				
					年度策定				
					年度策定				
【市民参加の状況】				<ul style="list-style-type: none"> ・阿蘇海環境づくり協働会議(宮津市及び与謝野町の地域団体、行政)による年2回程度の阿蘇海清掃。 ・NPO法人国際ボランティア学生協会と連携した阿蘇海カキ殻回収活動(平成28年度は、8月と2月に実施。) 					
【先進性】									
担当部署	企画部 企画政策課 環境交通政策係			TEL	45-1609				

事業名	エネルギー地産地消推進事業	新規	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上	3,500			3,500	0
総合戦略 策	しごとをつくり、安心して働けるようにする			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳			
背 景 経 緯	H27：民間事業者(オムロンフィードエンジニアリング(株))を代表申請者として官民共同による再生可能エネルギー調査を実施 H28：宮津太陽光発電合同会社(民間企業の出資によるSPC)による5MW相当の太陽光発電所を建設				繰入	自然環境保全基金繰入金	3,500	
目 的 目 標	エネルギー及び資金が市内で循環する「エネルギーの地産地消システム」を構築し、市内の再生可能エネルギーの地産地消を進める。			期 待 さ れ る 効 果	【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 市内の再生可能エネルギー自給率 H31年度:5% H28実績見込:1.15% ※発電ベース			
事 業 概 要	■電力の地産地消システムの構築に向けた小売電気事業調査 3,500千円 再生可能エネルギーで発電した電力を地域で消費・活用するため、小売電気事業構築に向けた調査を行う。 【主な調査内容】 <ul style="list-style-type: none"> 電力需給調査 電源調達・供給計画 事業収支モデル等の作成 電力需給管理方法、顧客管理、バラシンググループの組成検討 販売戦略、住民サービス内容等の検討 ≪参考≫ 市内の年間消費電力費用:35.7億円 (H27「宮津市地域産業連関表に基づく地域産業分析」)			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】				
				H19 年度策定	宮津市地域新エネルギービジョン	計 画 期 間	22 ~ 37	
				H24 年度策定	みやづ環の地域づくり行動計画		25 ~ 32	
				【市民参加の状況】				
				・太陽光発電所の建設に係る地元地権者・自治会等の協力				
			【先進性】					
			・地域住民、民間事業者、行政が連携して、地域課題(遊休地の解消等)の解決と再生可能エネルギーの活用をセットで行う。					
			担当部署	産業経済部 産業振興課 産業創出係	TEL	45-1608		

事業名	清掃工場等跡地利活用検討事業		新規	予算額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 重点戦略	—	ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上	10,000					10,000
総合戦略 政 策	—			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
背 景 経 緯	宮津市清掃工場等については、宮津与謝環境組合で整備中の「新たな広域ごみ処理施設」竣工後(H31.3月末実質稼動目途)、閉鎖予定としており、施設跡地については、地元自治会と協議の上「新施設稼動までに、周辺地域を含めた地域振興につながる基本計画を立案する」こととしている。								
目 的 目 標	宮津市清掃工場等の跡地について、今後の地域振興に資する利活用を調査・検討し、跡地利活用計画の方向を定める。			期 待 さ れ る 効 果	清掃工場等の跡地利活用を検討することにより、現施設の跡地が有効に利用され、地域の振興に寄与する。				
事 業 概 要	■清掃工場等跡地利活用検討業務委託料 10,000千円			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
	①現建屋の一部活用や国の交付金活用の可能性を踏まえた跡地利活用の調査・検討			年度策定					計 画 期 間
	②地歴調査を踏まえた土壌汚染調査計画書の作成			年度策定					
	③建屋の解体範囲(用途)に応じた工事概算費用の算出			年度策定					
	④跡地整備計画(案)の作成他			年度策定					
				【市民参加の状況】					
			【先進性】						
			担当部署	市民部 市民課 生活衛生係	TEL	45-1617			

事業名	宮津与謝環境組合分担金		継続	予算額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 重点戦略	—	ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上	467,859			451,100		16,759	
総合戦略 政 策	—			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
				223,588	市債	過疎対策事業債			451,100	
背 景 ・ 経 緯	平成4年竣工の現宮津市清掃工場は老朽化が懸念されるとともに、平成19年3月に地元との設置期限が終了後、毎年延長を依頼し、同意を得て運転している。 ・H25～ 1市2町で宮津与謝環境組合を設立し整備候補地の生活環境影響調査等実施 ・H27～ 候補地地元の建設同意・敷地造成工事着手 ・H28.4 DBO事業者と契約締結 ・H28.11 敷地造成工事完了 ・H29.1 施設建設工事着手(～H31.3月末実施稼動目途)			期待 される 効 果						
目 的 ・ 目 標	宮津市、伊根町及び与謝野町で組織する宮津与謝環境組合において、新たな広域ごみ処理施設を整備することにより、一般廃棄物の安定処理を図るとともに、本市の循環型社会の形成に寄与するため。									
事 業 概 要	新たな広域ごみ処理施設の整備・運営主体である宮津与謝環境組合の運営費及び事業費に対し、組合規約に基づく負担割合に応じた本市の分担金を拠出する。			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】						
	○宮津与謝環境組合：平成25年4月1日設立（与謝野町岩滝庁舎内に事務所設置）			25 年度策定	宮津与謝地域広域ごみ処理基本計画	計 画 期 間	25 ～ 38			
	○広域ごみ処理施設整備予定地：須津大谷地区（～一部与謝野町石川地区）			26 年度策定	新ごみ処理施設基本計画					
	○主な事業内容			年度策定						
	①施設建設工事施工監理業務 (H28～H31)			年度策定						
	②施設建設工事 (H28～H31)									
③議会費、総務費等経常経費 他			【市民参加の状況】							
※普通建設事業（①+②）の総事業費：9,259,921千円 H29事業費：1,477,192千円（うち、国庫補助金439,822千円）										
○分担金内訳（人口割） 計 1,075,827千円			【先進性】							
宮津市 (43.4883%) 467,859千円（うち、451,135千円が建設事業分）			焼却炉にバイオガス化施設を併設し、ガス発電を行う一般廃棄物処理施設は、全国的には先進事例。							
伊根町 (4.9800%) 53,576千円										
与謝野町 (51.5317%) 554,392千円										
担当部署	市民部 市民課 生活衛生係		TEL	45-1617						

事業名	新し尿処理施設整備準備事業		新規	予算額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他 一般財源	
ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン基本施策	環境保全と生活環境の向上	5,500				5,500	0
総合戦略政策	—			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
背景経緯	S39 : 現し尿処理施設運用開始 H26.10 : 宮津与謝し尿処理のあり方研究会(宮津市・与謝野町・伊根町)において、し尿処理施設の効率的な整備方針の検討を開始 H27.6 : 新し尿処理施設整備計画の策定に向け、し尿等の成分分析を開始(2年間) H27.7 : 宮津与謝し尿処理のあり方研究会において、宮津与謝地域のし尿等処理はし尿等の下水道希釈投入が最も効率的な手法であることを確認。 H28.3 : し尿等下水道希釈投入施設の整備について、京都府と市町分散方式を協議・調整			期待される効果	し尿及び浄化槽汚泥の衛生処理機能の安定確保				
					【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】				
目的目標	し尿及び浄化槽汚泥の衛生処理機能の安定を図るため、新し尿処理施設の整備計画を策定する。			18年度策定 生活排水処理基本計画		計画期間	18～30		
				27年度策定 京都府宮津湾流域関連宮津市公共下水道計画			28～33		
事業概要	■新し尿処理施設整備計画の策定 5,500千円 本市におけるし尿等の性状データが複数年分整ったことから、希釈投入方式、希釈投入倍率、希釈投入候補地等の検討を行い、新し尿処理施設の整備計画を策定する。 【主な検討内容】 ・希釈方式の選定 : 単純希釈方式と前脱水方式を比較検討し、経済性等効率的な希釈方式を選定 ・希釈倍率の設定 : し尿等の性状分析に基づき、希釈倍率と必要水量を設定 ・整備候補地の検討 : 各種条件により、市内における下水道への希釈投入候補地を選定 ・環境影響調査 : 周辺環境に与える影響調査と対策に関する整理 ・概算費用の算定 : 希釈方式別、投入地別による整備費及び維持管理費の概算			【市民参加の状況】					
				【先進性】					
			担当部署	建設部 上下水道課 下水道整備係	TEL	45-1637			

事業名	景観まちづくり推進事業	継続	予算額	財 源 内 訳							
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源			
ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上	40,700	20,150		8,500		12,050		
総合戦略 策	しごとをつくり、安心して働けるようにする			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳						
背 景 経 緯	H20.11 天橋立周辺地域景観計画施行 H21.6 宮津市まち景観形成協議会設立 H24.3 宮津市景観まちづくり提言書の提出 H25.8 宮津市景観まちづくりマスタープラン策定 H26.4 宮津市景観条例及び宮津・天橋立景観計画施行 H26.8 文珠MVD`締結(界限景観まちづくり協定第1号) H27.8 大垣界限景観まちづくり協定締結 (＼第2号) H28.6 溝尻地区景観まちづくり協定締結 (＼第3号)			43,770	国	街なみ環境事業費補助金		20,150			
					市債	過疎対策事業債			8,500		
目 的 目 標	天橋立をはじめとする宮津市特有の美しい自然と悠久の歴史に育まれた景観を守り育て後世に伝えていくために、行政・市民・事業者が協力して景観に配慮した街なみ整備を進めることにより、個性的で魅力あるまちづくりを促進する。			期 待 さ れ る 効 果	魅力ある街なみ景観を形成することにより、日本の顔となる観光地づくり及び居住空間としての快適さの向上を図ることができる。						
事 業 概 要	■街なみ環境整備事業 40,300千円 ○街なみ整備事業 17,000千円 海の京都観光圏の形成に向け、府中地区の道路の美装化を行い、景観に配慮した街なみ整備を図る。 [道路美装化路線] ・市道溝尻海岸線 (L=301m) 17,000千円 ○景観まちづくり事業補助金 22,800千円 住民主導による街なみ修景を進めるため、界限景観まちづくり協定に基づく修景の取組等に対し支援を行う。 ・景観形成活動助成事業 300千円 ・街なみ修景助成事業建物等修景 15件 22,500千円 ○宮津市まち景観形成協議会活動助成 500千円 良好な景観形成への取組みをさらに進めるため、地域の景観まちづくり協定の策定など、景観まちづくり活動を支援する。 ■宮津市景観審議会の運営 400千円 市景観審議会において市の景観まちづくりの方向性や景観計画の運用等に係る審議を行うとともに、同審議会の景観デザイン委員会において、景観まちづくりに係るデザイン面での助言等を行う。			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】							
				22	年度策定	文珠地区、新浜・魚屋地区まちづくり計画	計 画 期 間				
				24	年度策定	西部地区・府中地区景観まちづくり計画					
				25	年度策定	宮津市景観まちづくりマスタープラン					
				25	年度策定	宮津・天橋立景観計画					
				【市民参加の状況】							
【界限景観まちづくり協定の締結】 ・文珠地区(文珠町づくり委員会)・府中地区(大垣自治会界限景観特別委員会・溝尻自治会まちづくり協議会) 【宮津市まち景観形成協議会への参画】 ・文珠町づくり委員会・西部地区地域会議・宮津まちづくり研究会・宮津中部地区自治連合協議会・府中をよくする地域会議・東部地区・上宮津地区・橋北地区											
【先進性】											
担当部署	建設部 都市住宅課 まち景観係			TEL	45-1630						

事業名	重要文化的景観保護推進事業	継続	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上	23,000	11,500				11,500
総合戦略 策	しごとをつくり、安心して働けるようにする			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・選定経緯：H26.3、府中地区が「宮津天橋立の文化的景観」として国の選定を受ける。H27.1、文珠地区が追加選定を受ける。 ・修景整備：「重要な構成要素」となった建造物等の修景整備事業を実施。26年度(1件)・27年度(2件)・28年度(3件) 			46,930	国	国宝重要文化財保存整備費補助金			11,500
目 的 目 標	<p>当地の豊かな自然・歴史に育まれた地域景観の価値を明らかにし、後世に伝えるとともに、歴史文化を活かした地域づくりを推進する。</p>			期 待 さ れ る 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史的成り立ちの解明と価値付け ・市民の郷土意識と誇りの涵養 ・歴史的建造物の修景、魅力的な景観の創出 ・世界遺産登録推進に向けた地域の価値付け 				
事 業 概 要	<p>■普及啓発・調査事業の実施 2,000千円 宮津地区の追加選定に向け市民の機運醸成と、全体の整備計画のための調査事業を実施。事業実施にあたっては有識者による検討委員会を組織し指導・助言を得る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○普及啓発活動 宮津地区を中心に地域説明会、文化的景観フォーラム等を開催。 ○宮津地区の保存管理計画の作成 追加選定に向けて、景観形成基準の策定や「重要な構成要素」となる建造物等の特定を行い、保存管理計画を作成する。 ○整備事業に係る基礎調査等の実施 「重要な構成要素」について、建物履歴調査等の基礎調査を実施する。また選定地区全体の整備活用計画策定につなげる。 			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
				27 年度策定	宮津市教育振興計画			計 画 期 間	28 ~ 32
				年度策定					
				年度策定					
				年度策定					
			【市民参加の状況】						
			<ul style="list-style-type: none"> ○市民対象のフォーラム等の開催(20年度～) ○地域団体との連携事業(歴史ウォークの開催等) ○選定に向けた住民説明会の開催 ○市内建築NPOによる調査事業 など 						
			【先進性】						
			<p>市の景観まちづくり事業や遺跡発掘調査事業等との連動はもちろん、府が進める(仮)丹後歴史文化博物館整備事業、地域団体が進める各種事業とも連携により、住民主体の歴史を活かした総合的なまちづくり事業への展開が見込める。</p>						
			担当部署	教育委員会 社会教育課 文化振興係		TEL	45-1669		

事業名	男女共同参画推進事業	充実	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 重点戦略	定住促進戦略	ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	750		50		50	650
総合戦略 策	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H11 : 男女共同参画社会基本法の公布・施行 ・H13 : 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律 (DV防止法) の公布・施行 ・H14 : 宮津市男女共同参画基本計画-新ウインドプラン21-策定 (H24.3期間満了) ・H27 : 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律 (女性活躍推進法) の公布・施行 ・H29.3 : 宮津市男女共同参画基本計画~ウインドプラン2017~策定 (予定) 			878	府	人権問題啓発事業費補助金			50
					繰入	人材育成基金繰入金			50
目 的 ・ 目 標	男女が社会の対等な構成員として、互いにその人権を尊重しつつ、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画し、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮することで、喜びと責任をともに分かち合う地域社会の実現を目指す。			期 待 さ れ る 効 果	男女平等と男女の人権尊重の意識の向上を図り、男女が仕事、生活のあらゆる分野でいきいきと活躍できる社会の実現 【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 子育て応援企業の認定数 H28末見込:なし → H31目標:10社 ワーク・ライフ・バランス推進宣言企業 H28末見込:27社 → H31目標:60社				
事 業 概 要	■男女共同参画審議会の開催(新規) 113千円 男女共同参画の推進に関する重要事項の意見聴取及び関係団体との連携による施策の実施 ■女性相談の実施(新規) 97千円 女性の専門相談員が、さまざまな問題や悩みを抱える女性の問題解決を支援する「女性相談」を実施(年3回) ■女性団体の育成・支援(継続) 250千円 宮津市地域女性の会の事業運営支援 ■男女共同参画事務事業(充実) 290千円 日本女性会議(北海道苫小牧市)への参加、宮津市地域女性の会と共催し識見者を招へいた講演会の開催など				【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】				
				27年度策定	人権教育・啓発推進計画(第2次)	計 画 期 間	28	~	37
				27年度策定	女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画		28	~	32
				年度策定					
				年度策定					
				【市民参加の状況】					
			【先進性】						
			担当部署	企画部 企画政策課 人権啓発係	TEL	45-1615			

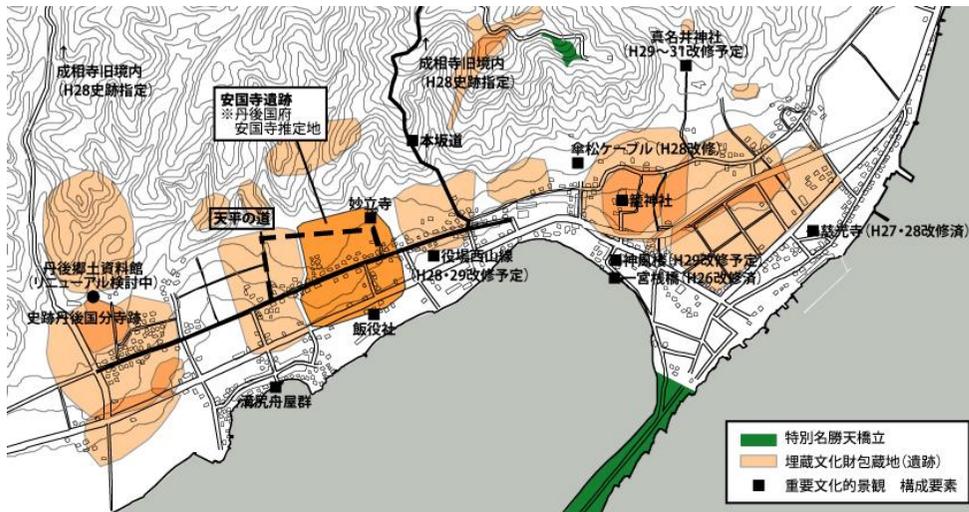
事業名	国際交流推進事業		新規	予算額	財源内訳				
					国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
ビジョン 重点戦略	—	ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	9,510				9,427	83
総合戦略 政策	—			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
背景・ 経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H24年度：市と国際交流協会との共催による青少年等の派遣事業を再開 ・H27年度：AET（英語指導助手）に加えCIR（国際交流員）を配置 ・H28年度：姉妹都市締結40周年を記念し、ネルソン祝祭合唱団を受入れコンサート開催 ・H29年度：アメリカ・デルレイビーチ市との姉妹都市締結40周年、中国・秦皇島市との友好都市締結30周年を迎える 			/	繰入	人材育成基金繰入金			9,400
					諸	夏休み小学生英語合宿食事代相当額			27
目的・ 目標	姉妹友好都市との交流事業を通じて、外国との友好関係を深める。特に、次代を担う青少年の外国人とのふれあいや、異文化の相互理解を図る。 また、CIRを配置して、市民が英語や外国文化に触れる機会を増やして広く市民の国際理解、交流の推進を図る。			期待される効果	国際的な視野を持った青少年の育成 姉妹友好都市とさらなる市民友好関係の推進				
事業概要	■姉妹友好都市交流事業 5,489千円 ◇アメリカ・デルレイビーチ市姉妹都市締結40周年記念事業 5,150千円 ○市長とともに市民訪問団を派遣し記念事業に参加（H29.秋（10日間）） ○高校生訪問団派遣事業への支援（H29.秋（10日間）） ・ホームステイ、学校体験入学など（12人（高校生10人、引率者2人）） ◇中国・秦皇島市友好都市締結30周年記念事業 339千円 ○訪問団の受入れ（H29.9月（4日間）） ・来訪団6人を受入れ、市民交流、市内観光、市内産業視察などを実施 ※国際交流協会が市と連携して実施する事業			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
				年度策定				計画期間	
				年度策定					
				年度策定					
				年度策定					
			【市民参加の状況】						
			文化講座、英会話講座への市民参加 市国際交流協会（3つの友好交流団体で構成）を中心とした市民主体型の交流活動を継続						
			【先進性】						
			【宮津市の姉妹友好都市】						
			・ネルソン市（ニュージーランド）			昭和51年提携			
			・デルレイビーチ市（アメリカ）			昭和52年提携			
			・秦皇島市（中国）			昭和62年提携			
			担当部署	総務部 総務課 秘書広報係		TEL	45-1604		

事業名	小中一貫教育推進事業		継続	予算額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 重点戦略	定住促進戦略	ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	9,721				9,700	21
総合戦略 政 策	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H28.7：宮津市小中一貫教育研究推進協議会設置 ・H29.1：宮津市小中一貫教育基本方針策定 ・H29.2：宮津市小中一貫教育フォーラムの開催 			9,904	繰入	教育基金繰入金			9,700
目 的 ・ 目 標	宮津市教育振興計画における基本方針「明日の宮津を創る子どもの育成」に位置付ける“質の高い学力の充実・向上”“心身ともに健やかな子どもの育成”を目指す。			期 待 さ れ る 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・系統性を重視した教育課程の編成による学力向上 ・学習意欲の向上、学習習慣の定着 ・「小1プロブレム」「中1ギャップ」等の解決 				
事 業 概 要	■小中一貫教育推進事業 9,721千円 宮津市小中一貫教育基本方針（平成29年1月）に基づき、平成32年度の完全実施に向けて、推進基本計画の策定、教科カリキュラムの作成等を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育専任職員の配置 ・宮津市小中一貫教育研究推進協議会の運営 ・栗田中学校区における研究実践モデル（推進体制、校種交流等）の実施 ・市民、保護者向けフォーラムの開催 			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
				27 年度策定	宮津市教育大綱			計 画 期 間	27 ~ 32
				27 年度策定	宮津市教育振興計画				28 ~ 32
				28 年度策定	宮津市小中一貫教育基本方針				28 ~
				【市民参加の状況】					
				<ul style="list-style-type: none"> ・宮津市小中一貫教育研究推進協議会委員に保護者の参画 ・宮津市小中一貫教育フォーラムへの市民・保護者の参加 					
			【先進性】						
			担当部署	教育委員会事務局 学校教育課 学校教育係			TEL	45-1641	

事業名	新図書館への移転に向けた準備 (図書館管理運営事業)	充実	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 重点戦略	定住促進戦略	ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	49,000	24,500		24,500	0
総合戦略 政 策	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳			
背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> 宮津市子ども・子育て支援事業計画(6つの重点プロジェクトの1つに「図書館の充実」を位置付け) 宮津市の図書館を考える会からの提言 (H28.2) 宮津市教育振興計画 (宮津にふさわしい新しい図書館の早期実現) 			国	地方創生推進交付金		24,500	
				繰入	過疎地域自立促進特別事業基金繰入金		24,500	
目 的 ・ 目 標	「子育ての場」「交流の場」としての機能も含めた「地域の知の拠点」として図書館の充実を図る。			期 待 される 効 果	・ 図書館の充実			
事 業 概 要	■新図書館への移転に向けた準備 49,000千円 ○新刊蔵書等の充実 (約20,000冊) ・児童書の充実 ・今後社会的ニーズが高まることが見込まれるテーマの書籍の充実 ○前尾記念文庫蔵書・資料の書誌のデータ化			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】				
				26 年度策定	宮津市子ども・子育て支援事業計画	計 画 期 間	27 ~ 31	
				27 年度策定	第二次宮津市子ども読書活動推進計画		28 ~ 32	
				27 年度策定	宮津市教育振興計画		28 ~ 32	
				【市民参加の状況】				
【貸出者数(延べ人数)】								
図書館 H25:20,437人 H26:18,889人 H27:19,487人 移動図書館 H25:2,766人 H26:2,881人 H27:2,445人								
【先進性】								
担当部署			教育委員会事務局 社会教育課 社会教育係	TEL	45-1642			

(単位:千円)

事業名	市内遺跡発掘調査事業		継続	予算額	財 源 内 訳								
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源				
ビジョン 重点戦略	—	ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	2,000	1,000	500			500				
総合戦略 政 策	—			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳								
背 景 経 緯	市内の重要遺跡の範囲内容確認調査を年次的計画をもって実施。 ・ H21～27：難波野遺跡（弥生～中世）・成相寺旧境内（山岳寺院） →H28.10：成相寺旧境内が国指定史跡に指定 ・ H28～31：安国寺遺跡（弥生～中世）			2,000	国	国宝重要文化財保存整備費補助金			1,000				
					府	文化財緊急保存費補助金			500				
目 的 目 標	宮津に残る優れた歴史遺産の保全活用を進めるため、市内の重要遺跡の範囲内容確認調査を継続して実施。地下に埋もれた遺跡の歴史的価値を明らかにし、保全活用のための基礎資料を作成し、今後の歴史文化を活かした地域のまちづくりにつなげていく。			期 待 さ れ る 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな歴史資源・価値の発掘 ・ 市民の郷土意識と誇りの涵養 ・ 歴史を活かした観光施策の新展開 ・ 世界遺産推進に向けた地域の価値付け 								
事 業 概 要	<p>■安国寺遺跡発掘調査 2,000千円</p> <p>遺跡の範囲・内容等を明らかにするための発掘調査を年次計画的に行い、地下に埋もれた遺跡の価値を明らかにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 府中地区の中心地にある安国寺遺跡は弥生～中世の複合遺跡で、古代の丹後国府、中世では雪舟筆「天橋立図」に描かれる「安国寺」の所在推定地とされ、古代～中世の「丹後府中」の繁栄を示す重要な遺跡である。 				【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】								
				<table border="1"> <tr> <td>年度策定</td> <td rowspan="4">計 画 期 間</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> </tr> <tr> <td>年度策定</td> </tr> </table>					年度策定	計 画 期 間	年度策定	年度策定	年度策定
	年度策定	計 画 期 間											
	年度策定												
年度策定													
年度策定													
			【市民参加の状況】										
			<ul style="list-style-type: none"> ○発掘調査成果の現地説明会の開催 小学校対象(H28.12.16)・一般対象(H28.12.17) ○成相寺旧境内国史跡指定記念講演会・フォーラムの開催 講演会(H28.11.6)・フォーラム(H28.11.20) 										
			【先進性】										
			市の重要な文化的景観整備事業・景観まちづくり推進事業との連動や、府が進める（仮）丹後歴史文化博物館整備事業、地域団体が進める各種事業との連携により、住民主体の歴史・文化を活かした総合的なまちづくり事業への展開が見込める。										
			担当部署	教育委員会 社会教育課 文化振興係	TEL	45-1669							



事業名	全国規模大会等開催支援等 (スポーツ振興事業)	新規	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 重点戦略	—	ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	2,759				2,000	759
総合戦略 政 策	—			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
					繰入	教育基金繰入金			2,000
背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・ H23 : スポーツ基本法施行 ・ H24 : 国スポーツ基本計画策定 ・ H26 : 京都府スポーツ推進計画策定 								
目 的 ・ 目 標	市民の誰もが生涯の各時期に涉って、それぞれの年齢や体力、目的に応じて、いつでも、どこでも、スポーツに親しむことができる明るく元気な「生涯スポーツ社会」の実現を目指す。			期 待 さ れ る 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯スポーツ社会の実現 ・ 市民の一人ひとりの健康と健全な社会づくり 				
事 業 概 要	■スポーツ振興計画の策定 650千円 ○宮津市スポーツ振興計画策定委員会の設置 ○スポーツに関する市民意識調査の実施 ○第2次宮津市スポーツ振興計画の策定 (平成30年度～平成39年度)			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
				19 年度策定	宮津市スポーツ振興計画	計 画 期 間	20 ~ 29		
				27 年度策定	宮津市教育振興計画		28 ~ 32		
				年度策定					
				年度策定					
				【市民参加の状況】					
			成人の週1回以上のスポーツ実施率:36.1%(平成25年度)						
			【先進性】						
			担当部署	教育委員会事務局 社会教育課 社会教育係	TEL	45-1642			

事業名	学校給食運営事業	新規	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 重点戦略	定住促進戦略	ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	5,000			5,000		0
総合戦略 政 策	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H28.7～8：学校給食あり方懇談会開催 ・H28.10：中学校給食の実施等に係る市方針決定 ・H28.12：優先交渉権者を選定 ・H29.2：宮津市学校給食業務基本協定締結 				市債	過疎対策事業債			5,000
目 的 目 標	平成30年からの中学校給食の実施及び民間委託によるセンター方式給食提供の導入に向けて準備を進めるもの			期 待 さ れ る 効 果	【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 中学校完全給食実施数 H31:全校(H27:0校)				
事 業 概 要	■学校配膳室整備に係る実施設計 5,000千円 センターから配送される食缶等を受け入れる配膳室の整備に係る実施設計 ○小学校4校分(宮津小、栗田小、吉津小、府中小) ○中学校2校分(宮津中、栗田中) ■その他(H29年度の動き) ○食材調達検討委員会(仮称)の設置 ○学校給食費公会計化についての検討など			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
				26年度策定	宮津市子ども・子育て支援事業計画	計 画 期 間	27～31		
				27年度策定	宮津市教育大綱		27～32		
				27年度策定	宮津市教育振興計画		28～32		
								【市民参加の状況】	
				学校給食あり方懇談会への保護者代表の参画					
				【先進性】					
担当部署			教育委員会事務局 学校教育課 学校教育係	TEL	45-1641				

事業名	介護人材確保推進事業		充実	予算額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 重点戦略	定住促進戦略	ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	4,995				4,995	0
総合戦略 策	みやづを担う次代の人づくり			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				5,329	繰入	福祉基金繰入金			4,995
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H27.4 舞鶴市での福祉専門学校の開設を受け介護福祉士修学資金制度を創設 ・H28.3 京都府北部福祉人材養成システムのもとで総合実習センター（特養・障害・保育）を整備 ・H29.9 総合実習センター開設 								
目 的 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士の養成及び人材確保を図る。 ・福祉施設現任者のスキルアップを支援し、多様な福祉ニーズに対応できる人材育成につなげる。 			期 待 さ れ る 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・介護人材の確保 ・施設介護の充実 【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉人材育成数:(H27～H31の5年間で)250人 				
事 業 概 要	■みやづ福祉・介護就職フェア 100千円【新規】 <ul style="list-style-type: none"> ・京都府(北京都ジョブパーク)及び市内介護施設との共催フェアを通じて介護福祉の職場にふれてもらうことで、介護職への就職につなげる。 			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
				26 年度策定	第7次宮津市高齢者保健福祉計画 第6期宮津市介護保険事業計画	計 画 期 間	27 ～ 29		
				27 年度策定	宮津市地域福祉推進計画		28 ～ 30		
				【市民参加の状況】					
				【先進性】					
■介護資格取得研修等受講費補助金 1,895千円【継続】 <ul style="list-style-type: none"> ・市内介護施設に勤務する者又はその予定者による介護資格取得を支援 ①介護員 介護員初任者研修の受講費の2/3を補助 ②介護福祉士 実務者研修、受験対策講座の受講費の1/2を補助 ③介護支援専門員 実務研修受講試験受験対策講座の受講費の1/2を補助 									
■介護福祉士修学資金 3,000千円【継続】 <ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士を目指す専門学校生等に奨学金年100万円を貸付け(2年を限度) ※卒業後宮津市に住み、かつ、市内事業所で介護福祉士の業務に3年間従事したときは返還免除 									
				担当部署	健康福祉部 地域福祉介護課 地域福祉係	TEL	45-1618		

(単位:千円)

事業名	地域子育て支援事業	充実	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
ビジョン重点戦略	定住促進戦略	ビジョン基本施策 健康増進と福祉の推進	15,057	4,606	4,780			5,671
総合戦略策	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる		(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
背景・経緯	就労環境の変化や核家族化などにより、子育てに不安を感じる親が増えている。そのため、子育てに係る負担の軽減と、安心して子どもを育てられる環境づくりが求められている。		12,379	国	子ども・子育て支援交付金			4,606
				府	子ども・子育て支援交付金			4,606
				府	市町村未来づくり交付金			174
目的・目標	子どもを育てることに楽しさを感じられる環境づくり及び地域ぐるみでの子育て支援をより積極的に推進する。		期待される効果	・子育て世帯の育児負担、不安の解消 ・母子の健全な心身の育成と健康保持 【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 年間出生数 H26:101人→H31:130人(H27:99人) 子育て支援センター等利用者数 H26:2,571人→H31:3,000人(H27:4,866人)				
事業概要	■地域子育て支援拠点施設の運営 13,603千円			【みやびビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】				
	~H29.11	宮津市子育て支援センター(亀ヶ丘保育園内)	子育て支援の拠点施設として、保育士による子育て相談や子育てサークルの支援などを実施		H26 年度策定	宮津市子ども・子育て支援事業計画	計画期間	27 ~ 31
		島崎げんきっこひろば(みやびふれあい交流館内)	子育て親子が気軽に集い、交流できる場として、リズム体操や絵本の読み聞かせ等を行う。		年度策定			
	H29.12~	宮津市子育て支援センター(統合し宮津阪急ビル内に移転)	従来の2か所の施設を統合。新たに「利用者支援専門員」を配置し、子どもに係る相談窓口を一元化するとともに地域と連携した支援を行う。		年度策定			
					年度策定			
	■ペップ・キッズ・ガーデンの運営 234千円		【市民参加の状況】					
	エア遊具や木のおもちゃを設置した屋内遊園地を毎月1回開設し、子どもの遊び場及び子育て世帯の交流の場を提供。 ※H29年12月以降は宮津市子育て支援センターに統合のうえ常設化。		ペップ・キッズ・ガーデンの運営への市民ボランティア(高校生、子育て経験者、市内事業所)の参加					
	■ファミリー・サポート・センターの運営 220千円		【先進性】					
	「おねがい会員」と「まかせて会員」からなる会員組織を運営し、会員間で子どもの預かり等を実施。また、まかせて会員のスキルアップ講習会や会員同士の交流会も開催							
	■子育て親子の交流促進 1,000千円		担当部署					
・未就園児と親同士の交流の場の提供 … 養老保育所、宮津・栗田幼稚園で実施 ・ベビーマッサージ教室(保健センター内) … 産後サポート(年6回) ・子育てママのリフレッシュ事業の展開 … ヨガ教室(年5回)		健康福祉部 社会福祉課 教育委員会事務局 学校教育課	子育て支援係 TEL	45-1621 45-1641				

平成29年3月定例会

平成29年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	結婚から出産までのトータルサポート (婚活支援事業、妊活支援事業、出産安心サポート事業)	充実	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 重点戦略	定住促進戦略	ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	9,700	153	276		8,501	770
総合戦略 策	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
背 景 経 緯	現代社会において、「未婚化」「晩婚・晩産化」が進んでおり、それに歯止めをかけるためにも、若い世代が結婚から出産、子育てに至るまでの希望を実現できる環境づくりが必要。 ※30歳代の未婚率 (H27国調) 男性:46.5%、女性:33.7%			9,268	国	未熟児養育医療給付費負担金			153
					府	未熟児養育医療給付費負担金ほか			276
					繰入	福祉基金繰入金			8,000
					繰入	まちづくり基金繰入金			500
					分負	未熟児養育医療費保護者負担金			1
目 的 目 標	結婚から出産までの過程をトータルで切れ目なく支援することで、若い世代の結婚・出産の希望がかなう環境を整え、若者定住、地域活性化を図る。			期 待 さ れ る 効 果	・婚姻率の向上 ・合計特殊出生率の向上 【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 婚活イベントによる婚姻件数 H27:2件⇒H31:10件 (5年累計) 年間出生数 H26:101人⇒130人				
事 業 概 要	■縁結びの場の提供に対する支援 500千円(新規) ○独身男女の交流や出会いの場を創出する事業を行う団体等に、その事業費の一部を支援 ・対象事業:①交流イベントの開催 ②交流の場に参加するためのセミナー等の実施 など ・補助金 :定額(上限100千円/回) ※1団体あたり1年度につき2回まで				【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】				
	■妊娠を望む夫婦に対する支援 700千円(充実) ○妊活教室(新規) 従来的一般不妊治療等助成金の支給に加え、スムーズな“妊活”への第一歩を踏み出してもらうため、妊娠を望む夫婦等を対象に、妊娠しやすい体づくりに向けた食事・運動など、妊娠に関する教養講座を開催 ・実施回数 1教室2回講座を2クール ※不妊で悩んでいる方だけでなく、将来的に子どもを希望する方も含め、気軽に集える教室とする。 ○一般不妊治療等助成金 ・対象治療:①医療保険適用の不妊治療 ②人工授精 ③医療保険適用の不育検査・治療 ・助成金 :医療費の1/2(上限100千円/年度 ※①のみの場合は上限60千円)			年度策定 年度策定 年度策定 年度策定					
	■妊娠期から出産までの幅広い支援 8,500千円(充実) ○妊産婦訪問(新規) ・主にハイリスクの方(高齢出産、育児不安を強く持っている方等)を対象に、妊娠期から産後までの間に訪問、相談を行い、出産・育児の不安解消を図る。 ○妊婦健診助成(妊婦健診に係る費用を支援。健診受診券の交付) ○パパママ学級(口腔ケアなどの指導及び沐浴・妊婦疑似体験など) ○養育医療費助成(未熟児の養育医療費等に係る助成) ○新生児訪問			【市民参加の状況】					
				市内の婚活イベント実施団体 ・宮津市民実践活動センター(H21～) ・養老地域会議(H25～) ・上宮津21夢会議(H24.25.27) ・天橋立観光協会(H27)					
				【先進性】					
				妊活教室は近隣市町では実施されていない。教室を通じ、身近な生活改善などから妊娠に向けた支援を行う。					
				担当部署	企画部 観光交流課 定住交流係 健康福祉部 健康増進課 健康増進係	TEL	45-1607 45-1624		

181・182・254

事業名	いきいき健康長寿のまち“みやづ”推進事業	新規	予算額	財 源 内 訳					
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 重点戦略	—	ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	56,880	1,308	1,471		3,532	50,569
総合戦略 政 策	—			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
背 景 ・ 経 緯	本市の高齢化率は約40%であり、さらに要介護認定率や市民一人あたりの医療費が上昇している。その中で、健康で元気に生活できる期間“健康寿命”を延伸させることが重要。			/	国	疾病予防対策事業費等補助金	1,308		
					府	保健事業費等補助金	1,471		
					諸	後期高齢者医療保健事業補助金等	3,532		
目 的 ・ 目 標	病気の早期予防・早期発見や運動面、栄養面など多様な視点から市民の健康づくりを応援し、健康寿命の延伸を図る。			期 待 さ れ る 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・病気の早期予防早期発見 ・運動面からの健康づくり ・栄養面からの健康づくり ・健康寿命の延伸 				
事 業 概 要	■早期予防・早期発見の推進 51,500千円 ○生活習慣病の早期予防、がんの早期発見を図るため、健康診査及びがん検診を実施 健診日数 15日間(6月～7月:土日含む) 【平成29年度より新たに始める取組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・乳がん検診の個別受診 ・肺がん検診のデジタル化 ・糖尿病予備群を対象とした保健指導の実施 ・健康診査及びがん検診のネット申込サービスの試行実施 ・健康診査及びがん検診の市民体育館での試行実施 			【みやづビジョン2011・まち・ひと・しごと創生総合戦略以外の計画】					
				27 年度策定	宮津市国保データヘルス計画	計 画 期 間	28 ～ 29		
				28 年度策定	いきいき健康長寿のまち“みやづ”推進プラン		29 ～ 32		
				年度策定					
				年度策定					
				【市民参加の状況】					
			○健康広場への参加人数等 H26:239回、3,385人⇒H27:275回、3,835人 ○主な検診受診率(H24⇒H28) <ul style="list-style-type: none"> ・胃がん :18.0%⇒20.5% ・大腸がん:27.4%⇒40.6% ・乳がん :33.7%⇒41.5% 						
			【先進性】						
			○宮津市食生活改善推進員協議会に委託し、市民の食生活改善を推進する。 <ul style="list-style-type: none"> ・減塩食など生活習慣病予防の講座 ・子育て世代と連携し、より幅広い年齢層に食育を行う(小・中学校訪問など) ・食生活改善推進員協議会の活動PR(広報誌への掲載、市フェイスブックの活用など) 						
			担当部署	健康福祉部 健康増進課 健康増進係	TEL	45-1624			